

救世軍公報



GOOD NEWS ときのことえ



子どもたちを招くイエス様 (イラスト・吉田敬作「聖書紙芝居」※より)

子どものことえ？

聖書の中に「はつきり言っておく。わたしは年を重ねるごとにさまざまな経験をします。うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと、つらいこと、その経験がわたしを成長させてくれます。

わたしには娘が一人います。その娘が二歳ぐらいのころのことです。娘にとって楽しく、良い経験になれ

でも、その成長の過程で、大事なものを無くしているのでは、と心配になったことはありませんか？

わたしには娘が一人います。その娘が二歳ぐらいのころのことです。娘にとって楽しく、良い経験になれ

ば、と水族館に連れて行きました。しかし、子どもが親の思惑どおりに行動してくれないのが世の常。娘は魚やイルカなどには一切興味を示しませんでした。そんな娘が水族館の中で興味をもったものがありました。

目をキラキラさせて、満面の笑みで叫びながら娘はそこに向かって行きました。「アイス〜！」って。彼女が興味を示したのは売店にあった大きなソフトクリームの置物でした。娘はその置物に近づくとあふれる笑顔でソフトクリームをぎゅつと抱きました。親としては「水族館まで来て興味があったものがそれか」と少し残念に思いましたが、そこが水族館であるとか、親の期待であるとか関係なく、素直な気持ちでソフトクリームの置物に走って行った娘を少しうらやましいと思いました。

子どものことえ？

聖書の中に「はつきり言っておく。わたしは年を重ねるごとにさまざまな経験をします。うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと、つらいこと、その経験がわたしを成長させてくれます。

「どうせ宗教でしょ」と避けるのは、もったいないことです。ために、教会(救世軍では小隊にあたる)に行ってみましょう。聖書を読んでみましょう。最初は文字だらけの分厚い聖書や今まで聞いたことのないようなことに困惑するかもしれませんが、あなた自身の心に響くものがあるはずです。もし、神様が用意してくださった最高の人生を子どものように受け取ることを心から望まれるなら、神様は、あなたに、あなたのための最高の人生を喜んで与えてくださいます。

(救世軍士官(伝道者))

「はつきり言っておく。わたしは年を重ねるごとにさまざまな経験をします。うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと、つらいこと、その経験がわたしを成長させてくれます。

わたしには娘が一人います。その娘が二歳ぐらいのころのことです。娘にとって楽しく、良い経験になれ

でも、その成長の過程で、大事なものを無くしているのでは、と心配になったことはありませんか？

わたしには娘が一人います。その娘が二歳ぐらいのころのことです。娘にとって楽しく、良い経験になれ

ば、と水族館に連れて行きました。しかし、子どもが親の思惑どおりに行動してくれないのが世の常。娘は魚やイルカなどには一切興味を示しませんでした。そんな娘が水族館の中で興味をもったものがありました。

目をキラキラさせて、満面の笑みで叫びながら娘はそこに向かって行きました。「アイス〜！」って。彼女が興味を示したのは売店にあった大きなソフトクリームの置物でした。娘はその置物に近づくとあふれる笑顔でソフトクリームをぎゅつと抱きました。親としては「水族館まで来て興味があったものがそれか」と少し残念に思いましたが、そこが水族館であるとか、親の期待であるとか関係なく、素直な気持ちでソフトクリームの置物に走って行った娘を少しうらやましいと思いました。

子どものことえ？

聖書の中に「はつきり言っておく。わたしは年を重ねるごとにさまざまな経験をします。うれしいこと、悲しいこと、楽しいこと、つらいこと、その経験がわたしを成長させてくれます。

War Cry

7月号

福音版
2018
July
No.2769

子どもはどのように？

二〇一八年 七月一日発行 大將 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナード (救世軍本営 東京都千代田区) <http://www.salvationarmy.or.jp>



世界をみつめて

〈ガボン共和国〉救世軍が活動する国と地域が129に！

7月1日(日)付で、救世軍はアフリカ中西部にある、ガボン共和国での活動を公式に開始いたします。ガボン共和国での働きは、2005年から隣国コンゴ共和国の救世軍によって模索されてきました。開設後3年間の予算及び人材支援をコンゴ共和国の救世軍が負うことになっています。

〈セント・マーチン島〉ハリケーン「イルマ」による被災地での継続支援

昨年9月カリブ海北部を襲ったハリケーン「イルマ」のもたらした爪痕は今も市民生活に深刻な影響を与えています。中でも、カリブ海リーワード諸島にあるセント・マーチン島の被害は大きく、島に住む65歳のルイスさんは、ハリケーンが襲った日のことを語っています。「その夜、激しい雨と風が家を打ち壊し、風によって飛ばされた冷蔵庫が家を壊していきました。車での避難も考えましたが、車やコンテナでさえも吹き飛ばされているのを見たので、家族で身を寄せ合って地下室で一晩過ごしました。」

彼は、やがて救世軍の支援によって、家の復旧に取りかかりました。新たなハリケーンに備え、近所の人の助けも得て、ハリケーン・ストラップという骨組みの補強材を施した上に屋根を設置しました。本当の復旧には時間がかかると言われていますが、生活は、徐々に回復に向かっていきます。



発行日 福音版・毎月一日発行
 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

定価 福音版・一部 四〇円
 広報版・一部 一〇〇円
 クリスマス特集号(十二月一日号) 一部 一〇〇円
 振替・〇〇一八〇五四〇〇

発行兼印刷人 救世軍
 代表者 ケネス・メイナード
 編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町一十七
 電話 東京 〇三三三三三〇八八一
 発行所 救世軍本営
 印刷所 図書印刷株式会社

第21代 救世軍大將が選出されました！



救世軍の最高指導者である、第20代救世軍大將 アンドレ・コックスの引退に伴い、全世界の救世軍の指導者111人がイギリスに招集され、最高会議が開催されました。2018年5月24日(現地時間)、現救世軍参謀総長である、中將ブライアン・ペドルが、次期大將に選出されました。8月に就任します。

ブライアン・ペドル略歴

カナダ出身の救世軍士官(伝道者)。中將。1977年に救世軍士官となり、小隊長、士官学校教官を経て、連隊本部、本営などでのさまざまな任命を受けた。2007年に救世軍ニュージラード・フィジー及びトンガ軍国の北部連隊長、2009年にイギリス及びアイルランド軍国の書記長官、2011年7月にカナダ・バミューダ軍国の司令官に任命された。2014年9月に万国本営(国際本部)に移り、アメリカ・カリブ地域担当万国書記官に任命され、2015年11月に参謀総長に任命されて、現在に至る。



救世軍とは？ What is the Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍はイギリスに国際本部があり、世界129の国と地域で活動する、プロテスタントのキリスト教会です。

創立者はイギリスのメソジスト教会の牧師だったウィリアム・ブース。1865年、東ロンドンのスラム街で、どのような境遇の人も、イエス・キリストを信じるならば救われる、と伝道を始め、飢えている人には食べ物を、家のない人には宿泊場所を、仕事のない人には職業の斡旋を、アルコールにおぼれる人や搾取されている女性たちには、回復・更生のための施設を提供し、物心両面からの救いを目指しました。やがてこの働きを推し進めるために、機動力と統率力に富んだ軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army」と名づけました。

救世軍では、使われていなかった墓地にテントを張っておこなわれたブースによる最初の伝道集会在7月2日だったことから、その日を創立記念日としています。世界各地に広がった今も、災害被災者支援、難民支援、開発途上国の自立支援などの働きを含め、心と体と魂の救いのための働きを、小隊(教会にあたる)、社会福祉施設、病院、学校などを通して進めています。

日本では1895(明治28)年に働きが始まりました。日本人で最初に士官(伝道者)になった山室軍平は、社会問題に取り組み、廃娼運動や結核療養所設立などに力を尽くして、キリスト教界だけでなく、明治~昭和初期の社会福祉史にもその名を残しました。

現在、日本の救世軍では、43の小隊と、19の社会福祉施設、2つの病院(ホスピス併設)を通して、働きを進めています。また、街頭生活者支援、災害被災者に対する長期にわたる支援をおこなっています。



(取扱支部) 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではお取り扱いしません。これらの問題でお悩みの場合は、右救世軍にご相談ください。

発行日及び定価
 福音版・毎月一日発行
 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

定価 福音版・一部 四〇円
 広報版・一部 一〇〇円
 クリスマス特集号(十二月一日号) 一部 一〇〇円
 振替・〇〇一八〇五四〇〇

発行兼印刷人 救世軍
 代表者 ケネス・メイナード
 編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町一十七
 電話 東京 〇三三三三三〇八八一
 発行所 救世軍本営
 印刷所 図書印刷株式会社

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会

※「聖書紙芝居」のお問い合わせは、救世軍前橋小隊へ(電話 027-231-9533)

いろいろな思い込みが破壊されて

友人に読んでもらいたい!!

今回、友人や知り合いに紹介することをイメージして書いてもらえればうれしいです！と原稿の依頼を受け、自身でも張り切ってお受けしましたが、いざ書くとなると、とても難しいものでした。

たとえば、たくさんの字がバババツと並んでいる



石坂 清太郎
パプアニューギニアの青年と

紙面を想像するだけでも、とても自分の友人や知り合いに紹介できるものには…と(笑)。もし、フェイスブックなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で、四千字にもなる投稿があったら、正直、自分なら読まないかもしれません。

それでも、なるべく友人や知り合いに読んでいただけるようなものになれば、と思います。わたしが一番伝えたいことは、**教会とは格式が高く形式的で仰々しいものではなく、とてもカジュアルなものである**ということです。

誤解を生まないために一応言っておくと、すべてがカジュアルではありません。カジュアルではありませんが、あくまで、いろいろな人が行き来する場所、多くの人の居場所となっているという意味では、教会は、人の生活に根づき、存在しているものなのです。そこに堅苦しさはないはずで、教会だけでなく、信仰をもつこともまた堅苦しいもの、仰々しいものではないと思います。

神様はこれまでさまざまな経験をとおして、わたしにそのことを伝えてくださった、と確信しています。

ミャンマーのクリスチャンと出会って

救世軍士官(伝道者)の両親のもとに生まれたわたしは、両親の赴任先である、大阪、北海道、東京と移り住み、今に至っています。

わたしの両親が赴任した小隊(教会にあたる)が、自分の住まいでしたから、信仰はいたって自然な環境で育ちました。

そのため、信仰をもつ決断というような経験が、自分の中では非常に曖昧です。思い返しても、信仰をもつにいたる特定の出来事をはっきり思い出せません。

しかし、そんなわたしが、だんだんと教会が自分の居場所である、と意識し、自分がクリスチャンであるという自覚をもつようになったのは、大学時代のタイとミャンマーにおける研究、教育支援活動がきっかけだったと思います。

キリスト教主義の大学に進学したわたしは、国際的な支援について学びました。その研究の一環で、ミャンマーYMCAの青年と共に活動する機会が与えられました。タイやミャンマーは国民の大半が仏教徒の国で、

共通して敬虔な仏教徒が他国に比べて多いことが特徴です。

そんな中、両国において、非常に数少ないミャンマーのクリスチャンと活動する、という貴重な体験をすることができました。

彼らの一日の生活において、特に、ことあるごとに祈禱会や聖書の学び会が頻繁にある、というわけではありませんでした。けれども、個人で簡単な祈りをしていたり、さらっと信仰の話をしていたり、と信仰が生活の一部に溶け込んでいました。そこにはまったく堅苦しさがなく、お祈りは静かなところでやらなきゃいけない、聖書はちゃんと読まなきゃいけない、といった、自分の中にあった(クリスチャンとしてやるべきこと)の思い込みが破壊されました。

ミャンマーのクリスチャンたちが、大半の人が無宗教である日本人に対して、「君らの信じているものはどうかかわからないけど、神様にとりあえず相談すると神様がいろんな形でアド



北海道時代。家族と(左から2人目)

バイスをくれるから、いつでもいいから簡単にお祈りするようになっている」と証言をしている姿を見て、自分もそうありたい、と感じたのを覚えています。

彼らから、

「なんでそんなクリスチャンでいることが大変だと思ってるの？ わたしたちにとつての生活の一部でしょ。そんな堅苦しくする必要ないでしょ」と、神様とちょっと気軽に向き合えばよいことを教えられました。

その出会いから、自分がクリスチャンであるために課すハードルが低くなり、神様をより信頼できるようになったと思います。

UNBOUND(解放)!

ちょうど、今年五月に、救世軍で青年の行事がおこなわれました。今年は、アメリカの救世軍から、ギターバンドの編成で神様を賛美しながら伝道活動をしている、UNBOUNDというグループが来日しました。また、日本の周辺の国々、韓国、台湾、香港、インドネシア、フィリピン、パプアニューギニア、ニュージーランド、オーストラリアからも青年たちが参加しました。



5月に開催された、青年の行事で

にお祈りを始めたバプアニューギニアの青年や、スペイン語と英語がごちゃ混ぜになったお祈りをするUNBOUNDのメンバーの姿、またコンテンポラリーダンスでの賛美など、それぞれがそれぞれのスタイルで神様とのコミュニケーションをとることができました。そして、知らず知らずのうちに自分の中に固定化していた「こうあるべき」というものから、解放されました。自分も神様との関係をつくっていくのに、もっとカジュアルでいいんだ、という気づきを与えられました。

その気づきが与えられてからは、お祈りは声を出してする必要もないし、いつでもできるじゃん! という「大発見」が与えられたのです(笑)。



UNBOUNDの演奏に心が解放されました。わたしの好きな聖書の言葉は、「わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなたの知らない隠された大いなることを告げ知らせる」(エレミヤ書33章3節) 英語では、「呼べ」が「Call」と書かれていて、電話で話せるような気軽さを感じました。

ものすごいパワーの源は、祈り

本気で大発見と思うほど、自分の考えはかなり固定化されていたんだと思わされています。今、社会人二年目として経営コンサルティングの会社で勤めています。株式会社であるため、当然のことながら成果や利益など株主への説明責任が重要な視され、毎日さまざまなチャレンジがあり刺激的な日々を過ごしています。

大発見以来、仕事に取りかかる前には、パソコンを前にして自然と短いお祈りをするのができるようになりました。

それは、明確な言葉での祈りではなく、一瞬神様に時間を渡すような感覚です。すると、本当にそれがなにか、自分でもよくわからな

常に神様に問いかけながら

ビジネスの世界はともハードな世界ですが、その中で神様と常に対話しながら仕事をしていきたいと思っています。

経営コンサルタントとして働く中で、お客様に対して常に正しくいること、目の前の「小さな」成果、利益に動かされるのではなく、本気でお客様を正しい姿へ導いていけるような仕事をしたい、と感じています。

祈りを通して、神様から知恵を与えてもらいながら良い仕事をしていきたいです。

事への向き合い方を通し、一つ一つの仕事に対して誠実さや正しさをもちつことがいかに重要か、を神様は教えてくださっていると思います。わたしは、その方には到底及びませんが、常に神様に問いかけることで、正しさ、誠実さを携えて仕事をしていきたいと思っています。一緒に仕事している同僚やお客様に、自分がクリスチャンであることをはっきりと伝えていくわけではないので非常に窮屈に感じることがあります。しかし、自分が神様に強められながら働く中で神様の力が同僚またお客様に働くようになれば、と期待しています。

(救世軍杉並小隊・信徒)



UNBOUNDのCD販売中!
写真は、「FOR THE KING」
価格1000円(税込み)ご注文は救世軍
出版供給部まで。TEL03-3237-0881

- キリスト
- 〇〇私の近くの救世軍を紹介してください。
- 〇〇キリスト教についてもつと知りたいです。
- 〇〇『ときのことえ』の購読を申し込みます。
- ご住所
- ご氏名

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の救世軍にお送りください。